

科目ナンバー	HIS-1-002-sn			科目名	日本近代史		
教員名	松田 英里			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	・開国・明治維新からアジア太平洋戦争にいたるまでの日本の近代の歩みを学ぶ。・講義でとりあげる諸テーマに関する先行研究の蓄積と成果を理解する。・「史料」「資料」から歴史叙述が構成されていることを理解する。・国際関係や対外戦争の歴史についても深く学ぶ。・前期「日本史概説」(担当野口)、「日本現代史」(担当大沼)に接続する講座である。						
到達目標	・近現代史の諸問題について考える能力を養う。また、考える上で必要となる知識を身につける。・日本近代の歩みを知ることにより、それを現在のわが国や私たちが直面している問題、これからの日本のあり方を考えるための材料にすることができる。・近代で繰り返されてきた戦争の歴史を正確につかみ、現在の日本の平和維持に役立たせる。・歴史的思考力と想像力をもつことができるようになる。・授業の中では、特に「資料」をもとにどのような先行研究が積み重ねられてきたのか理解することを重視する。したがって文章を丁寧に読み解くとともに、「資料」を的確に読解し、そこから何が明らかになるのかということを読み出す力を養っていく。・根拠を元にした論述は、社会人になってからも大事なスキルである。そのスキルを学ぼう。・上記をふまえ、「資料」を根拠としながら、的確な日本語を用い、歴史を自分なりに叙述できるようになる、ということが到達目標である。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	・講義を中心に進める。・板書をするので、ノートと筆記用具を持参すること。・担当者作成のプリントやテキスト(写真資料集)を活用する。・準備学習・事後学習として、教材の授業内容部分や、参考文献の該当箇所を毎回読んでくる。・毎回、リアクションペーパー(コメント用紙)を配布し、感想・質問・意見などを書いてもらう。次の授業ではその一部を紹介することによって、学生が互いの意見を知ったり、担当者が質問に答えるなどの振り返りを行い、一方通行になりがちな講義を双方向授業にする。・期間中(前半)に、図書館との連携課題として、日本史に関わる本を図書館で借りて読み、本のPOPを書いて提出してもらう。授業内で、POPについて一人一人が報告を行う。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特になし。						
アセスメントポリシー及び評価方法	提出物・レポート(授業への取り組み姿勢を含む)(以上30%)、学期末レポートまたはテスト(以上70%)で総合的に評価する。						
教材	『写真資料館 日本史のアーカイブ』とうほう ISBN9784809077272 C7021(毎時間持参すること、過年度版をすでに持っている人はそれでもよい。高校生の時に日本史を選択した人で、資料集をとってある人はそれを持ってきてもらっても構わない)						
参考図書	・『もういちど読む 山川日本史』山川出版社、2009年・『もういちど読む 山川日本近代史』山川出版社、2013年・『はじめて学ぶ日本近代史』上・下、大月書店、2002年・2003年・『新編史料でたどる日本史事典』東京堂出版、2012年・『シリーズ日本近現代史』1～6、岩波新書、2009年・『日本史史料』4近代・5現代、岩波書店、1997年*その他の参考文献は授業でも紹介する。						

内容・スケジュール			
1週目			
授業学修内容	ガイダンス		
授業外学修内容	シラバスを読んでくる。	時間数	0.5
2週目			
授業学修内容	幕末動乱期① ペリー来航と開国に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	1
3週目			
授業学修内容	幕末動乱期② 幕末の政局に関する研究と資料を読み解く		
	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解		

授業外学修内容	釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。近現代史に関わる本を図書館で借りて読みPOPを書く。	時間数	1
4週目			
授業学修内容	幕末動乱期③ 戊辰戦争に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。近現代史に関わる本を図書館で借りて読みPOPを書く。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	明治時代① 新政府の成立に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。近現代史に関わる本を図書館で借りて読みPOPを書く。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	明治時代② 自由民権運動に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。近現代史に関わる本を図書館で借りて読みPOPを書く。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	明治時代③ 日清戦争・日露戦争に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。POPを作成する。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	明治時代④ 植民地支配に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。POPの発表の準備をする。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	発表		
授業外学修内容	一人一人がPOPの発表を行う。準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	大正時代 第一次世界大戦と「大正デモクラシー」に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	昭和期① 昭和恐慌と軍部の台頭に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	昭和期② 満州事変・日中戦争に関する研究と資料を読み解く		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	昭和期③ アジア太平洋戦争に関する研究と資料を読み解く(1)		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	昭和期④ アジア太平洋戦争に関する研究と資料を読み解く(2)		
授業外学修内容	準備学習として教材または資料の指定箇所を読む。振り返りとして資料の解釈とそこから言えることをまとめる(次回提出)。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	昭和期⑤ アジア太平洋戦争に関する研究と資料を読み解く(3)		

授業外学修内容	授業の後半部では、講義のまとめを行う。試験の課題を作成する。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		22.5	
その他に必要な自習時間		67.5	

Number	HIS-1-002-sn	Subject	History of Modern Japan		
Name	松田 英里 (Matsuda Eri)	Year and Semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	O I learn Japanese modern history from the Meiji Restoration to the Asia-Pacific War .				